紀美野町第2回定例会会議録

令和元年6月21日（金曜日）

○議事日程（第4号）

令和元年6月21日（金）午前9時00分開議

- 第 1 議案第63号 紀美野町情報公開条例の一部を改正する条例について
- 第 2 議案第64号 紀美野町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- 第 3 議案第65号 紀美野町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について
- 第 4 議案第66号 紀美野町消防手数料条例の一部を改正する条例について
- 第 5 議案第67号 紀美野町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について
- 第 6 議案第68号 紀美野町営住宅条例の一部を改正する条例について
- 第 7 議案第69号 紀美野町火災予防条例の一部を改正する条例について
- 第 8 議案第70号 工事請負契約の締結について
- 第 9 議案第71号 物品購入契約の締結について
- 第10 議案第80号 物品購入契約の締結について
- 第11 議案第72号 令和元年度紀美野町一般会計補正予算（第2号）について
- 第12 議案第73号 令和元年度紀美野町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について
- 第13 議案第74号 令和元年度紀美野町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）について
- 第14 議案第75号 令和元年度紀美野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
- 第15 議案第76号 令和元年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について
- 第16 議案第77号 令和元年度紀美野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について
- 第17 議案第78号 令和元年度紀美野町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

について

第18 議案第79号 令和元年度紀美野町上水道事業会計補正予算（第1号）について

第19 発委第 1号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書について

第20 議員派遣の件について

第21 閉会中の継続調査の申し出について

(総務文教常任委員会)

(産業建設常任委員会)

(議会運営委員会)

(議会活性化特別委員会)

(広報編集特別委員会)

○会議に付した事件

日程第1から日程第21まで

○議員定数 12名

○出席議員

議席番号	氏名
1番	桐山尚己君
2番	廣瀬隆一君
3番	藤井基彰君
4番	上柏皖亮君
5番	七良裕光君
6番	田代哲郎君
7番	西口優君
8番	北道勝彦君
9番	向井中洋二君
10番	美野勝男君
11番	美濃良和君
12番	伊都堅仁君

○欠席議員

な し

○説明のため出席したもの

職 名	氏 名
町 長	寺 本 光 嘉 君
副 町 長	小 川 裕 康 君
教 育 長	東 中 啓 吉 君
消 防 長	家 本 宏 君
総 務 課 長	細 峪 康 則 君
企画管財課長	坂 詳 吾 君
住 民 課 長	仲 岡 みち子 君
税 務 課 長	湯 上 増 巳 君
保健福祉課長	森 谷 善 彦 君
産 業 課 長	米 田 和 弘 君
建 設 課 長	井 村 本 彦 君
教 育 次 長	曲 里 充 司 君
会 計 管 理 者	北 山 仁 君
水 道 課 長	長 生 正 信 君
まちづくり課長	山 本 訓 永 君
美 里 支 所 長	坂 昌 美 君
代表監査委員	菊 本 邦 夫 君

○欠席したもの

な し

○出席事務局職員

事 務 局 長	中 谷 昌 弘 君
次 長	井 戸 向 朋 紀 君

開 議

○議長（伊都堅仁君） 皆さん、おはようございます。

開会前に、山形県沖を震源として発生した地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

ただいまから、本日の会議を開きます。

それでは日程に入ります。

本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

（午前 9時00分）

◎日程第1 議案第63号 紀美野町情報公開条例の一部を改正する条例について

○議長（伊都堅仁君） 日程第1、議案第63号、紀美野町情報公開条例の一部を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで質疑を終わります。

これから議案第63号に対して討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで討論を終わります。

これから議案第63号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第63号は原案のとおり可決されました。

◎日程第2 議案第64号 紀美野町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

○議長（伊都堅仁君） 日程第2、議案第64号、紀美野町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

6番、田代哲郎君。

(6番 田代哲郎君 登壇)

○6番(田代哲郎君) おはようございます。

人事院規則の改正により、時間外労働の上限についての導入ということですが、災害時とかは別ですが、現在の通常時でも上限規制を超えるような時間外労働というのはあるのかどうか。ないことはないんですけど、頻繁にあるのかどうか、その点についてお聞かせください。

(6番 田代哲郎君 降壇)

○議長(伊都堅仁君) 総務課長、細峪君。

(総務課長 細峪康則君 登壇)

○総務課長(細峪康則君) それでは、田代議員の御質疑にお答えをします。

勤務時間外で45時間以上の労働は現在でもあるのかという御質疑であったかと思いますが、現実にございます。直近といいますか、平成30年度のものも、ちょっと申し上げますと、45時間以上勤務した職員は1年間で64人おりました。ですので、月平均5.3人ぐらいになります。と申しますのは、この30年度は議員も御承知のとおり9月に台風21号が接近しまして、そしてこれが9月6日でしたので、それから2、3週間、特に2週間ぐらい停電も続きましたし、倒木もありましたし、断水もありました。そういう影響でこのうち9月には45時間以上の勤務が64人中35人おりました。大体毎月1人から4人ぐらい、ゼロの月もございますが、継続して45時間以上勤務しているという職員はほとんど、ないことはないんですけど、ほとんどないに等しい数字でございます。

以上、答弁といたします。

(総務課長 細峪康則君 降壇)

○議長(伊都堅仁君) 7番、西口 優君。

(7番 西口 優君 登壇)

○7番(西口 優君) おはようございます。

時間外労働がこういうふう規制されてくると、一人頭が入ってくるということになるわね。職員数が現行で足りるのかという、そういうふうな危惧をします。普通に考えて、1人時間外労働ができないということになってくると、職員を増やす必要があるんじゃないかと、こういうふう漠然と思うんですけど、その点についてはどうなんでしょう。

(7番 西口 優君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 総務課長、細峪君。

(総務課長 細峪康則君 登壇)

○総務課長 (細峪康則君) それでは、西口議員の御質疑にお答えをします。

確かに職員数、合併当時から60名ぐらい減ってきております。それで、合併当時の事業を同じようにしていれば、当然、超過勤務の時間も多くなりますが、役場といたしましては住民のニーズに沿って、その事業も見直したりとか、あるいは廃止したりとか、そういうことにも努めておりますし、また、その仕事の効率化、そういうものも進めておりますので、そういうことに取り組んでもおりますので、職員の健康に注意をしながら、この時間数を見守っていきたいと考えております。

(総務課長 細峪康則君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 7番、西口 優君。

○7番 (西口 優君) 職員数が減ってくるという、それはそれで効率化によって解消されたら一番理想なんですけど、その当然、減ってくることによって、本来、職員の権利である有給休暇なんか、その消化率というのは、みんなが当然、有給休暇は与えられているから、これだけとりますということは間違いないと思うんですけど、その消化率なんてのはどんなものなんですか。みんなが有給とればいいけども、とれない人員があったら、ちょっと考えないかのかなと、こういうふうに思うのでね。その消化率の大体推移ってどんなものですか。

○議長 (伊都堅仁君) 総務課長、細峪君。

○総務課長 (細峪康則君) 有給休暇なんですけど、紀美野町の職員は大体6日から7日の間、はっきりした数字はちょっと記憶にないんですが、6日ぐらい消化なんです。それで、他の市町村と比べると2日ほど少ない、普通8日間ぐらい県内の市町村はとられているという数値を記憶しております。紀美野町の職員は2日ほど少ないということですので、できるだけ有給もとっていただくというようなことを課長会なり管理職には職員がとりやすい状況をつくってくれというようなことも再三申し上げておりますので、職員もしっかり有給をとるという権利がありますので、そういう全ての職員も意識改革をして、メリ張りのついた職場環境といいますか、そういうものにも今後取り組んでまいりたいと思いますので、御理解をいただきたいと思います。

○議長 (伊都堅仁君) 7番、西口 優君。

○7番（西口 優君） 有給の利用率が6日か7日って、その多分、有給なんてのはもっとたくさんの有給があるんでないか。休まんなんというわけじゃないんやで。例えば、体調が悪かったら当然休めるという、それはそれとして、本来は有給休暇というのはそういうもんじゃなくて、休む権利があると考えたときに、もっと消化率がよそはたとえ8日であっても、そうではなくて実際は職員の有給休暇なんてのは、もっと、詳しいことは知らんけど、20日とかそういうふうなことがあると思うんですよ。そうしたら、消化率が余りにも低い、こういうふうなんは職員の権利として考えたときに余り不適切じゃないかなと思うんやけど、別に休まんなんことはないけども、休めるというふうな権利のことを行使できないというのは、ちょっと職員的人数的に問題があるんじゃないか、こういうふう思うんですけど、その点の考えを聞かせていただきたいと思います。

○議長（伊都堅仁君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） 西口議員の御質疑にお答えいたしますが、この職員の勤務時間並びに休暇等につきましては、国の働き方改革、これに基づくものでございまして、当町の今の職員の状態、これにつきましては議員御承知のとおり職員の削減計画というのがございまして、その計画の中で現在まで合併後六十数名減らしてきたという状況でございます。しかしながら、一方ではやはり仕事も増えてきております。そんな中でいかにこれをこなしていくかということで、事務事業評価等々しながら事務改善をし、そして職員がその業務をこなせるような状態に持っていくということで、今、努力をしておるところでございます。そんな中で、やはり一番必要なのはこの事務改善ということになってこようかと思いますが、これにも限度がございます。特にこの市町村におきましては、皆さん御承知のとおり、やはり住民に対するサービス業務、これが非常に大きくなってきている。そうした中で、この勤務時間並びに休暇についての条例制定ということでございますが、これはやはり行政庁として守っていかなければならん。そうした中で事務改善も含め、職員との調和を図っていきたい、そうしたことでございますので、御理解賜りたいと思います。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

11番、美濃良和君

（11番 美濃良和君 登壇）

○11番（美濃良和君） おはようございます。

改正条例の案ということで、8条に3項つけるということで、この提案がされていると思うんですが、その3項の中の最後に必要な事項は規則で定めると、こうなっていますね。その規則というのは、どうふうなものになるのか、お示し願いたいと思います。

（11番 美濃良和君 降壇）

○議長（伊都堅仁君） 総務課長、細峪君。

（総務課長 細峪康則君 登壇）

○総務課長（細峪康則君） 美濃良和議員の御質疑にお答えをいたします。

上程に当たりまして、初日もちよっと申し上げたんですが、今回、勤務時間の時間外労働の上限を定めるものが中心でございまして、時間外勤務命令の上限を原則1カ月について45時間、かつ1年間で360時間の範囲といたします。そして、非常に多忙な業務を行う部署においては一時的に1カ月について100時間は認めるものの、2月から6カ月の平均が80時間以下になるようにしまして、1年間で720時間の範囲という、これが上限を定める主なものでございます。

（総務課長 細峪康則君 降壇）

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 各議員さんがそれぞれ質疑をされておりますんで、ちょっと最後にそのこれから大体職員の定数を減らしていこうということについて、計画が合併の段階でも出てきたんですね。大体、その合併というのは交付税減らすために国が仕組んできたものであると、こういうふうな中で、ここにどうしてもし寄せが来るんじゃないかというふうに察するんですけども、業務の中身を改善しながら、仕事も減らしていく方法で考えておられるという答弁があったかというように思うんですけども、その辺はやはり限度があるんじゃないかというふうに思うんですけども、仕事はだんだんと国・県からおりてくる部分が多いし、また思わんことは次々起こってきますよね。さきの説明の中の今年の台風の問題とか、そういう中では大変厳しいかなというふうに思うんですけども、その辺のところ、もう一度説明を願いたいと思います。

○議長（伊都堅仁君） 副町長、小川君。

○副町長（小川裕康君） 美濃議員の再質疑にお答えいたします。

先ほどから説明している中で、仕事を減らしていくとかということは申し上げております。事務を改善していくということで、サービスの低下にはつながらないような努め

はもちろんしていく予定でありますし、なおかつ最近いろんなニーズも増えているということで多様化もしておりますので、そういったところに対応していくために事務改善をしていくということは積極的にしていきたいと思えます。

そして、また総務課長が答弁しましたように、効率化もどんどん図っていきまして、今の職員数でいろんなサービスに対応できるようにしっかり効率的に努めていきたいということでございます。

それと、合併時のころから申し上げれば60人の職員が減っているということで、当初の目的である職員の削減計画についてはほぼ達成してきているということで、現在の180人というのは適正な規模かなというふうに考えておりますので、これは今後できるだけ保ってきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 今の答弁の中で、事務改善をされていくということで、これは今後、議会のほうへもその辺のところこういうふうな形でやっていくということについては知らせていただけるということであるんかと思いますが、その辺についてお聞きしたいのと、それと広域化ですね、ということも申されましたけれども、広域化については、どういうふうな方向にあるのか、その辺のところはどういうふうに考えておられるのかということと、それから、どういう状況にあるのかということについての説明を願いたいと思えます。

○議長（伊都堅仁君） 副町長、小川君。

○副町長（小川裕康君） お答えいたします。

まず、事務改善については、これは当然日々の業務の中でやっていく分でありまして、例えば、各課にまたがっているとか、各課でよく似た仕事をやっているとかというのを一本化していくのであるとか、それは細かい点もたくさんございますので、随時皆様方に御説明していくというのは非常に難しいかとは思いますが、これは役場としてはしっかりと今後を見据えてしていかなければ、今後はこの人数で対応できないかというふうに考えております。

2つ目の広域というのは私は申し上げてなくて、効率化ということを申し上げました。それは総務課長が答弁しましたように、職員が一生懸命仕事をしていく中で、よりスムーズにいくように業務の効率化を図っていきたいというふうに考えておるところでござ

いますので、以上です。

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 1番、桐山尚己君。

（1番 桐山尚己君 登壇）

○1番（桐山尚己君） 先ほど45時間以上の残業の実態をお伺いしましたけれども、いわゆるサービス残業、実際に残業をしたけれども、申告なり申請をできていないというような実態は民間の企業ですと結構あるわけですが、当町においてはそういう実態はないというふうに認識してよろしゅうございますか。

（1番 桐山尚己君 降壇）

○議長（伊都堅仁君） 総務課長、細峪君。

（総務課長 細峪康則君 登壇）

○総務課長（細峪康則君） それでは、桐山議員の御質疑にお答えをいたします。

サービス残業ということはございません。

（総務課長 細峪康則君 降壇）

○議長（伊都堅仁君） 1番、桐山尚己君。

○1番（桐山尚己君） では、有給休暇の取得に関してですけれども、先ほど年に5日ないし6日というお話がございましたけれども、それは全職員の平均値であると。例えば、管理職である課長職の皆さんとその他の職員の皆さんというふうに分けて考えた場合、消化率というのは開きというのはあるんでしょうか。

○議長（伊都堅仁君） 総務課長、細峪君。

○総務課長（細峪康則君） 管理職と一般職の分けたデータはここには持っていません。ですが、職場で見る限りでは、恐らく管理職のほうが少ないようには思います。それがどれだけ差があるかとか、そういうことはちょっと申し上げられないんですが、私の職場にいてる感想ではありますが、管理職のほうが少ないようには思います。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 1番、桐山尚己君。

○1番（桐山尚己君） 一般的に考えますと、上司がなかなか有給休暇を取得しないという状況において、部下が有給休暇を取得するというのはなかなか難しい。しにくという状況になってくるかと思うんですね。ですので、ぜひとも上司である課長職の

皆さんがまずは率先して有給休暇の消化をしていただいて、部下の皆さんにもしっかりと有給の消化をしていきなさいよという御指導をいただければというふうに思います。

○議長（伊都堅仁君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） 桐山議員の御質疑にお答えいたしますが、実は毎月、私どもは課長会議というのを月初めに持っております。そこにおきましても、実は各課長さん方に、やはり職員の健康というのがまず第一です。したがって、その職員の休暇とか、また健康状態、これについては課長さん方、十分気をつけて、そして休暇なり、また指示を与えるなりという、その指導を絶えず行っております。そうした中で現在を迎えておるわけですが、やはり先ほど桐山議員がおっしゃられたように、部下は休暇をとりにくいだろうという状況もあろうかと思っておりますので、それは事前に各課長にできるだけとらせてやってくれと。そしてまた、気持ちを切りかえる、そうした機会も与えてやってほしいということを絶えず言っておりますので、ひとつ御理解を賜りたいと思います。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

これで質疑を終わります。

これから議案第64号に対し討論を行います。

反対討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで討論を終わります。

これから議案第64号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第64号は原案のとおり可決されました。

◎日程第3 議案第65号 紀美野町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について

○議長（伊都堅仁君） 日程第3、議案第65号、紀美野町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで質疑を終わります。

これから議案第65号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで討論を終わります。

これから議案第65号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第65号は原案のとおり可決されました。

◎日程第4 議案第66号 紀美野町消防手数料条例の一部を改正する条例について

○議長（伊都堅仁君） 日程第4、議案第66号、紀美野町消防手数料条例の一部を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

6番、田代哲郎君。

（6番 田代哲郎君 登壇）

○6番（田代哲郎君） 主に石油タンクというか、そういう石油とは限りませんが、紀美野町に現在こういうのが恐らくないと思います。しかし、将来にわたってこういうのを設置できるような場所なり、相当の広さを必要とすると思うんですけど、そういうプラントのあれ、そういう場所が紀美野町に存在して、将来は設置されるかもしれないという見通しというんですか、そういうのがあるのかどうか、その点についてお聞かせください。

（6番 田代哲郎君 降壇）

○議長（伊都堅仁君） 消防長、家本君。

（消防長 家本 宏君 登壇）

○消防長（家本 宏君） 田代議員の御質疑、将来にわたってこのようなタンクが設置される可能性があるのかという御質疑でございます。

将来的にどういった状況になるかということに関しましては、確定的な話はできませんが、恐らくこれぐらいの大きな屋外タンクということになりますと、今現在、設置されているのは全部海岸沿いで輸送手段も全て船で輸送してといったような状況の中でのコンテナの中にも存在するタンクが対象となってございますので、恐らく可能性は極めて低いというように思われます。

以上、御答弁とさせていただきます。

（消防長 家本 宏君 降壇）

○議長（伊都堅仁君） 6番、田代哲郎君。

○6番（田代哲郎君） 恐らく可能性は低いということなんですが、私もこういう事務手続上のことについては、よく行政の人間ではないのでわからないんですが、可能性がなくてもそういう法律が改正されたら、それから消費税等が上がるということであれば、そういう条例の変更を行わなければならないというものなのかどうか、その辺のことについてお聞かせください。

○議長（伊都堅仁君） 消防長、家本君。

○消防長（家本 宏君） 田代議員の再度の御質疑にお答えをさせていただきます。

紀美野町の手数料条例、これに関しましては、国の準則に基づいて取り決めしております、そういったことから当然のことながら現在明記されている事項に関しましては改正をする必要があるということで御理解を賜りたいというふうに思います。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

11番、美濃良和君。

（11番 美濃良和君 登壇）

○11番（美濃良和君） この改正条例の説明のときに、今ちょっと田代議員も触れられましたけれども、消費税の関係ということがあやに説明があったかというふうに思いますが、消費税とこの条例の改正、その関係についてお示し願いたいと思います。

（11番 美濃良和君 降壇）

○議長（伊都堅仁君） 消防長、家本君。

（消防長 家本 宏君 登壇）

○消防長（家本 宏君） 美濃良和議員の御質疑にお答えをさせていただきます。

今回、手数料が引き上げられました理由でございますが、消費税及び地方消費税の引き上げに伴いまして、地方公共団体の手数料の標準に関する政令、これが改正されたので、これに合わせて手数料の改正を行うという御説明をさせていただきました。

手数料の標準額につきましては、手数料を徴収する事務に要する人件費と物件費を個々に算出して積算されてございます。今回の改正につきましては、消費税率引き上げに伴い、影響を受ける通信費、備品費、消耗品費等の物件費について、その影響額を試算した上で、直近の人件費や物件費の単価等を加味した見直しが国において行われたために改正を行うということでございます。

以上、御説明とさせていただきます。

（消防長 家本 宏君 降壇）

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） この消費税が上がることによって、一つの手数料、これが1万円も上がるものなんですか。どうふうな計算でそうなるのかと、まだ消費税が上がったわけではないんですよね。どっちかといえば、消費税は上げられないような状況がどんどんと進んでると、そういうふうなことがあって、ここで条例を上げる必要があるのかどうかということも考えられますけども、とりあえず今示されたことについて客観的にそれだけ要するのかどうか、お示し願いたいと思います。

○議長（伊都堅仁君） 消防長、家本君。

○消防長（家本 宏君） 美濃良和議員の再度の御質疑にお答えをさせていただきます。

この根拠となるべき数字まではちょっと明確に把握はできておらないんですが、物件費の項目の中の旅費、通信費、備品費、消耗品費等雑費の単価に今回、増税されるであろう10%の課税をした合計に端数処理、これを行った差が1万円という形になるということで御理解を賜りたいというように思います。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） そのところは大変難しい中身の計算がされているんか

わかりませんが、10%ではないんですよ。2%が1万円と、こういうふうなことになるんですか。

それと、基本的、うちは実際、消防長さんも言われるようにこういうタンクがつくられる可能性も少ないわけで、どっちかといえば、ここで議論するのも必要なのかわかりませんが、何にしても消費税はまだ引き上げられていないという段階でなんですけども、その2%でそれぞれ1万円ずつ上げなきゃならんということにはなりにくいんじゃないかと思いますが、もう一度お願いしたいと思います。

○議長（伊都堅仁君） 消防長、家本君。

○消防長（家本 宏君） 申しわけございません。先ほどの私の10%、これは取り下げさせていただきます。今、議員がおっしゃるように、2%の課税分イコール1万円ということで御理解を賜りたいと思います。

今、現時点におけるこの改正ということでございますが、先ほども御説明をさせていただきましたとおり、この国の見直しが行われた結果、当町において現在、条例で規定しているこういった手数料に関しまして改正する必要があるというふうに理解をしておりますので、御理解を賜りますよう、よろしくお願いたします。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで質疑を終わります。

これから議案第66号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

11番、美濃良和君。

（11番 美濃良和君 登壇）

○11番（美濃良和君） この町に関係してくるんかどうか、少しわかりにくいところがございますけれども、その前提として料金を設定しなきゃならんということで引き上げ案が提出されました。私たちは、この消費税を引き上げること自体に反対です。しかも、そんなところから各自治体に料金の引き上げということをするように求めてくるようなんですけれども、そういうことは納得いきません。しかも、消費税というのは、本来ならば景気がよくなければならんということ、引き上げができないわけですよ。今までの5%、8%にしたときに、どれだけ景気の状態があったのかと、そ

うということから考えても当然そうなるわけで、国のほうではいろんな統計資料を改ざんしたりとか、いろんな形で景気がよいというふうな方向に持っていきたいようがございますけれども、だんだんと情勢は景気が悪いと、そういうふうな方向に国民の多くが感じてきていると、そういう中で消費税の引き上げはまずされてはならない。そして、その上でこのように2%の引き上げでこの手数料の条例まで引き上げるということについては、納得がいきません。そういうことで、今回の消防手数料条例の一部の改正に反対いたします。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで討論を終わります。

これから、この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

○議長 (伊都堅仁君) 起立多数です。

したがって、議案第66号は原案のとおり可決されました。

◎日程第5 議案第67号 紀美野町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する
条例について

○議長 (伊都堅仁君) 日程第5、議案第67号、紀美野町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

11番、美濃良和君。

(11番 美濃良和君 登壇)

○11番 (美濃良和君) 災害弔慰金の支給に関して、その利息、利子を設定するということが改正があるようでございます。中身を見てみたら、保証人があれば無利子になると、これは改正されたわけですね。そういうふうに。そしてまた、保証人が立

てない場合は据置期間中は無利子で、それ以後は要するに今までは3%だったのが1.5%と、このように改善されるというふうに見てよろしいんですね。

それと、もう一点は、この災害弔慰金の支給を受けておられる方がこの町で何人おられるのか。その辺の状況についてお聞かせいただきたいと思います。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 保健福祉課長、森谷君。

(保健福祉課長 森谷善彦君 登壇)

○保健福祉課長 (森谷善彦君) 議員の御質疑にお答えします。

まず、現在ある3%の貸し付け利率については1.5%とするという改正内容につきましては、議員御指摘のとおり被災者の返済負担を軽減するために現在の3%から1.5%に軽減するものでございます。

また、町内に受けられる方についてはどのような方がいるかということなんですが、この災害弔慰金の災害援護資金については、県内で災害救助法が適用された市町村が1以上ある災害により負傷または住居・家財に被害を受けた世帯主に対して、その生活を立て直すために被害の種類・程度に応じて350万円を上限として貸し付けるものでございますので、その災害の程度によって対象者が分かれてくるということになります。

以上、答弁とさせていただきます。

すみません。答弁漏れです。町内での実績については、平成23年に台風12号の被災を受けて1件借り入れがありました。

以上、答弁とさせていただきます。

(保健福祉課長 森谷善彦君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) ほかに質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで質疑を終わります。

これから議案第67号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで討論を終わります。

これから議案第67号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第67号は原案のとおり可決されました。

◎日程第6 議案第68号 紀美野町営住宅条例の一部を改正する条例について

○議長(伊都堅仁君) 日程第6、議案第68号、紀美野町営住宅条例の一部を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) これで質疑を終わります。

これから議案第68号に対して討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) これで討論を終わります。

これから議案第68号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第68号は原案のとおり可決されました。

◎日程第7 議案第69号 紀美野町火災予防条例の一部を改正する条例について

○議長(伊都堅仁君) 日程第7、議案第69号、紀美野町火災予防条例の一部を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) これで質疑を終わります。

これから議案第69号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) これで討論を終わります。

これから議案第69号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第69号は原案のとおり可決されました。

◎日程第8 議案第70号 工事請負契約の締結について

○議長(伊都堅仁君) 日程第8、議案第70号、工事請負契約の締結について議題とします。

これから質疑を行います。

7番、西口 優君。

(7番 西口 優君 登壇)

○7番(西口 優君) この中で契約方式として、指名型企画提案方式による随意契約という、こういうふうな契約の中で価格引き下げ努力というのは、どういうふうな形で機能するのか、尋ねたいと思います。

(7番 西口 優君 降壇)

○議長(伊都堅仁君) 総務課長、細峪君。

(総務課長 細峪康則君 登壇)

○総務課長(細峪康則君) 西口議員の御質疑にお答えをいたします。

今回の契約方法は、指名型企画提案方式による随意契約ということで、いろいろちが水準というか仕様書的なものを業者さんにお送りをして、そして業者さんから企画提案をいただきます。その企画提案の中にも金額が示されておりまして、その金額も審査の対象になっております。したがって、業者さんとの交渉といたしますか、そういう提案の中でこちらの要望であるとか、そういうものもありますので、価格だけでこれは決めてはならないということでございますので、御理解をいただきたいと思います。

(総務課長 細峪康則君 降壇)

○議長（伊都堅仁君） 7番、西口 優君。

○7番（西口 優君） 今の説明だと、それこそこういうものをこんな形でというお互いの話し合いということになるんかもわからんねんけど、そういった中で価格というのはどこに基準があるのか。ちょっと例えば、競争入札とかというんだったら、安いほう、どういう仕様でどういうふうな安いほうでというのが判断しやすいですけど、今の説明の中でだったら、まず価格、どこが適正というのが判断が付きにくいところだと思うんですよ。だから、その基準が何を基準にしてこういう金額になったのかという部分がもう少しわかりやすく説明願いたいと思います。

○議長（伊都堅仁君） 総務課長、細峪君。

○総務課長（細峪康則君） まず、やっぱり見積もりの的なものをいただかないと、こういう大きな事業でありますので、素人はその金額を設定するというのはなかなか難しいものがございますので、そういう関連の業者さん、あるいは、よく訪問に来られる方であるとか、そういう方も含め、他の市町村のやり方といいますか、状況でありますとか、過去のうちが美里エリアでしました金額もあります。平成19年度に防災行政無線を設置するときのこと、そういうこともいろいろ加味しまして大まかな金額といいますか、当然、予算にも乗せていかないといけない金額でございますので、そういうことで見積もりをいただいて、大体の金額は設定をしております。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 7番、西口 優君。

○7番（西口 優君） その美里がデジタル化されてるという、そのときに当然そういうふうな入札になったのかどうだったのか、私、ちょっと定かでないんですけど、普通に考えて業者が数社あってというんだったら非常にわかりやすいんですよ。そうじゃなくて、話し合いの中でこの金額というところに、この価格が適正かどうかという。第三者から見たらこの価格が適正かどうかという判断基準がちょっとつきにくいんですけどね。そら、当然、美里がデジタル化しても、それから年数がたつと当然、技術とか単価も変わってこようかと思うんですよ。だからそういった中でこの価格というのは何を根拠かなと、そういうふうに第三者から見てわかりやすいような説明、そういうふうになってないと思うんですよ。だから、その点を再度尋ねたいと思います。

○議長（伊都堅仁君） 副町長、小川君。

○副町長（小川裕康君） 西口議員の御質疑にお答えいたします。

先ほども総務課長が御説明はしておるんですが、この契約の方法というのは、いわゆるプロポーザル方式をとっております。一番大事なのは企画・提案をしていただいている内容が一番大事なものであるわけです。防災行政無線、旧野上のアナログをデジタルに変えるということで、それが旧美里をデジタル化してるということで、今回、デジタル化することによって、全町的にデジタルの防災無線にしていくわけなので、まず内容が一番大事なところであります。その内容を業者から提案していただきます。そのときに、じゃあ金額は幾らでもいいんかということではございません。ですから、金額についても見積書を提出していただいて、内容と見積もり額とあわせて一番いいところを私どもは相手とするところであります。

それと、指名型ということでございますので、うちからは7社に対して指名して、7社から提案をいただくというような形の方式をとってございます。そういう中で、最終的にこの業者が一番すぐれているということで、それは金額的にもそうございましたので、この業者と契約したいということにしておりますので、以上、答弁いたします。

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

6番、田代哲郎君。

（6番 田代哲郎君 登壇）

○6番（田代哲郎君） 7社に応札してもらっているということで、私個人の知識では、このサイバーリンクスという会社はそういう防災無線を手がけている会社というよりも、そういうコンピューター関係のそういうあれのほうが大きいんかなという。以前にここの紀美野町のいわゆるコンピューター関係の保守のあれで応札して、落札できなかったという事情があるので、そういうことが専門の会社かなというふうに思う。それで、その応札した7社について、どことどこなのかをお伺いしたいと思います。金額もお願いします。

（6番 田代哲郎君 降壇）

○議長（伊都堅仁君） 総務課長、細峪君。

（総務課長 細峪康則君 登壇）

○総務課長（細峪康則君） それでは、お答えをさせていただきます。

まず、指名の7社なんですが、これは応札とおっしゃいましたよね、議員さん。とりあえずその入札という形ではこれはないので、私どもがこの指名した7社というのは、これから申し上げますので。まず、日本無線株式会社関西支社。それから、日本電気株

株式会社和歌山支店。株式会社富士通ゼネラル近畿情報通信ネットワーク営業部。パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社関西支社。株式会社サイバーリンクス。株式会社日立国際電気西日本支社。沖電気工業株式会社関西支社の7業者でございます。

そして、サイバーリンクスというのは、コンピューター関係のというイメージがあると議員おっしゃられました。それで、私ども、和歌山県内の防災行政無線の導入業者は、どういうところがあるのかというのを調べさせていただきまして、サイバーリンクスは13市町で行っております。導入に当たっております。

以上、答弁とさせていただきます。

(発言する者あり)

○総務課長（細谷康則君） 全体のですか。7社のということですね。はい、すみません。

それで、この7社でプロポーザルを行うということで、こちらから通知を差し上げたところ、6社が辞退ということで、結局、最終的にはサイバーリンクスが当日、企画提案していただいて、という形になりました。やはり、仕様書のほうには旧美里エリアの施設、それを必ず使うということもあります。それから、防災行政無線ですので、切れ目なくしないと、一旦中断してしまうと大変なことになりますので、支障なく継続的に行政無線が使える状態にしておくこと、そういう当然条件もつけておりましたので、そういうことでそれが確保するのが困難であるという辞退する理由のことでありました。

以上、答弁とさせていただきます。

(総務課長 細谷康則君 降壇)

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

11番、美濃良和君。

(11番 美濃良和君 登壇)

○11番（美濃良和君） プロポーザル方式という耳に余り聞かん方式なので、町としては初めてじゃないかというふうに思うんですけども、ほかのものがあるのか知りませんが、議会に出てきたというのが私が聞いたのは初めてなんですけれども、提案型と言われましたよね。我々が以前からこの防災行政無線に対する求めるものとして、野外での外での放送と、それともう一つはそういう弱者の方々に対して、または聞こえにくいといわれるの方々ですね、そういうことに対して提案を求めたのかどうか。それで、

どのような回答があったのか。さきの一般質問で答弁もいただいたんですけども、そんなところの関係があったのかどうかを聞きたいと思います。

それから、もう一点。これは、あるのかないのか知りませんが、落札率というのがあれば、それをお示し願いたいと思います。

(1 1 番 美濃良和君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 副町長、小川君。

(副町長 小川裕康君 登壇)

○副町長 (小川裕康君) 美濃議員の御質疑にお答えいたします。

まず1点目のプロポーザルという方式なんですけど、当町では幾つかの案件についてこの方式をとっております。今までの実績で申し上げますと、例えば、長期計画であるとか、まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画策定であるとか、ということで、もちろん金額も大事なんですけど、内容が大事な案件についてはうちから指名した業者から内容を提案していただいて、その内容を十分審議させていただいた上で、なおかつ見積もり額もしっかりと見きわめた上で業者を決定していくということで、かなりの案件についてプロポーザル契約をとっております。

2点目の落札率というのは、今回はございません。

以上、答弁いたします。

(副町長 小川裕康君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 休憩します。

休 憩

(午前10時03分)

再 開

○議長 (伊都堅仁君) 再開します。

(午前10時04分)

(副町長 小川裕康君 登壇)

○副町長 (小川裕康君) 大変失礼いたしました。

答弁漏れということで、今の防災行政無線で非常に聞こえにくいというような町民の方からの声がある中で、今回の中でこれをどうしていくのかということをご提案の中で業者に対して申したということでございます。おっしゃるとおり、我々は十分認識してお

ります中で、提案をいただく中で業者に対してうちからいろんなことを質問いたしまして、その中に今、申し上げたような非常に聞こえにくいところの解消方法というのも今回の中にしっかりと盛り込んでいただいているのかということも確認いたしまして、それは業者からの回答では、スピーカーの種類を変えるなどして対応していくということの明確な回答をいただいておりますので、これについてはきちっとした形で実施していただけるものと認識はしております。

以上です。

(副町長 小川裕康君 降壇)

- 議長 (伊都堅仁君) 11番、美濃良和君。
- 11番 (美濃良和君) さきの一般質問の中で、メールを使うとか、あるいは本当に弱者といわれる障害者の方、あるいは高齢者の方に対して、電話・FAX等での連絡すると、そういうようなことについてはこの中ではやったのではないんですか。また、これは違うやり方としてのこんな方法が入ってきたのか。それはどうなんですか。

○議長 (伊都堅仁君) 副町長、小川君。

○副町長 (小川裕康君) お答えいたします。

さきの一般質問で今回の新たなデジタル化によって新しい方法、メニューをお答えしております。ただいまの私が申し上げたのは、旧来の形の中で聞こえにくいところがあるということを今回の事業の中で改善していただきたいということを申し上げておりますので、いろんな内容でもって以前よりもっともっと聞こえやすい、そして聞いてもらいやすいような形のものにしていきたいというふうに考えてございます。

以上、答弁といたします。

○議長 (伊都堅仁君) ほかに質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで質疑を終わります。

これから議案第70号に対して討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで討論を終わります。

これから議案第70号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第70号は原案のとおり可決されました。

◎日程第9 議案第71号 物品購入契約の締結について

○議長(伊都堅仁君) 日程第9、議案第71号、物品購入契約の締結について議題とします。

これから質疑を行います。

7番、西口 優君。

(7番 西口 優君 登壇)

○7番(西口 優君) 契約方法として、指名競争入札となっております。何社で入札をしたのかと、それと落札率ですかね。これ特殊なものなんで、一般的なものにはならんから、大体そういった関連の業者に発注したものだと思うんですけどね。そういった中で指名業者を価格引き下げ努力ということから考えると何社かにやって、そういうことをやってると思うんですよ。だから、その点をちょっと確認したいと思います。

(7番 西口 優君 降壇)

○議長(伊都堅仁君) 消防長、家本君。

(消防長 家本 宏君 登壇)

○消防長(家本 宏君) 西口議員の御質疑にお答えをさせていただきます。

指名業者は8社でございます。

落札率でございますが、97.7%ということでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

(消防長 家本 宏君 降壇)

○議長(伊都堅仁君) ほかに質疑ありませんか。

11番、美濃良和君。

(11番 美濃良和君 登壇)

○11番(美濃良和君) 1点は、最高額ですか。それと、調査価格ですね。昔でいったら最低制限価格という、その辺のところについては入れておったのかどうか。それに係った業者があるのか。

それと、今、8社というふうに言われましたけれども、その8社についてそれぞれ会社名及びそれぞれ応札された金額について、お示しいただきたいと思ひます。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 消防長、家本君。

(消防長 家本 宏君 登壇)

○消防長 (家本 宏君) 美濃良和議員の御質疑にお答えをさせていただきます。

まず、最高、制限価格ですか。一応、予定価格というのを設定しておりまして、予定価格が1,810万円でございます。

指名業者でございます。有限会社和歌山防火協会。応札額が1,770万円でございます。有限会社那賀防災、同じく1,780万円でございます。株式会社阪和総合防災、1,800万円でございます。ながみね農業協同組合、取り扱い困難ということで辞退をされております。株式会社なかモーター自工、理由ははっきりしませんが辞退ということでございます。有限会社志賀野設備紀美野営業所、入札日程調整困難ということで辞退をされております。小川ポンプ工業株式会社和歌山出張所、今回に限りということで辞退をされております。株式会社山口商会和歌山有田営業所、都合により辞退ということでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

(発言する者あり)

○消防長 (家本 宏君) 最低価格というか、それはありません。設定はしてありません。予定価格ということだけです。

(消防長 家本 宏君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) よろしいですか。

11番、美濃良和君。

○11番 (美濃良和君) 予定価格にはしてたと。それで、それぞれ3社ですか、が実際に入札を行ったんですよね。それで、といったということで97.7%という数字だったということのようなんですけれども、これは何回やったんですか。

○議長 (伊都堅仁君) 消防長、家本君。

○消防長 (家本 宏君) 再度の御質疑にお答えさせていただきます。

1回でございます。

○議長 (伊都堅仁君) 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） その1回で終わったということについて、それは客観的にその1回で終わったということについてはどういうふう判断されたんですか。

○議長（伊都堅仁君） 企画管財課長、坂君。

○企画管財課長（坂 詳吾君） ただいまの美濃良和議員の御質疑にお答えいたします。1回といいますか、もちろん1回なんですけど、1回目で結局、最低価格の方が制限落札予定価格の範囲内で決まったということで、1回で終わってございます。

以上でございます。

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで質疑を終わります。

これから議案第71号に対して討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで討論を終わります。

これから議案第71号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第71号は原案のとおり可決されました。

◎日程第10 議案第80号 物品購入契約の締結について

○議長（伊都堅仁君） 日程第10、議案第80号、物品購入契約の締結について議題とします。

これから質疑を行います。

11番、美濃良和君。

（11番 美濃良和君 登壇）

○11番（美濃良和君） 537万7,320円と、これで富士商會がとったということでございますけれども、この3台まとめてこの金額ということなんです。ちなみに、入札に参加業者と、それからそれぞれ入れた応札額ですね、それと落札率について

でもお示し願いたいと思います。それと、最高制限価格、それから調査価格、そういうのはどうだったのか、お聞かせいただきたいと思います。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 水道課長、長生君。

(水道課長 長生正信君 登壇)

○水道課長 (長生正信君) それでは、美濃議員の御質疑にお答えさせていただきます。

入札の参加業者につきましては、6業者でございます。まず、有限会社有紀機材でございます。入札額は509万4,000円でございます。次に、株式会社富士商會、入札額は497万9,000円でございます。次に、近畿電設工業株式会社、入札額は534万8,000円でございます。次に、株式会社赤路電気水道、入札額は530万2,000円でございます。次に、大西電設株式会社、561万7,000円でございます。次に、株式会社酒直、入札額は746万4,000円でございます。いずれも入札額のため、税抜き金額でございます。

次に、上限額と申しますか、落札予定価格でございます。1,035万円ということで、落札率が48.1%となっております。

以上、御説明とさせていただきます。

(水道課長 長生正信君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 11番、美濃良和君。

○11番 (美濃良和君) すみません。48.1%というふうに非常にすごいこの場合は競争あったために頑張ったのか、その辺、さきの予定価格が1,035万でしたっけ。そういうことでそのころとこの余り差が大きいんで、皆、私以外の方も低いなどというふうを感じるんですけども、それほどのような形でこうなってきたのか。これだけ低いと普通、今までの入札でしたら調査価格でどうであるかということになってくるかというふうに思うんですけど、それについてはもう問題なしにこれで決定ということなんですか。

○議長 (伊都堅仁君) 水道課長、長生君。

○水道課長 (長生正信君) 非常に安い金額で応札していただいております。予定価格の設定につきましては、この物品の購入ということで、定価という形になるか、一応その見積もり等を参考にさせていただきますまして、約9割程度の予定価格という形が一

般的であると言われておりましたので、そういう形で設定させていただきました。また、それで3台購入ということもありまして、その割引率といたり、今回、購入の機種選定の機種のほうなんですけれども、やはりシェアの大きいデンヨー製というところもありまして、やはり全国的にも70%のシェアを持っているというふうに言われていますので、やはりその需要が大きい分、その割引率といたしますか、そういうのが下がった結果ではないかというふうに考えてございます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで質疑を終わります。

これから議案第80号に対して討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで討論を終わります。

これから議案第80号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第80号は原案のとおり可決されました。

しばらく休憩します。

休 憩

（午前10時21分）

再 開

○議長（伊都堅仁君） 再開します。

（午前10時34分）

◎日程第11 議案第72号 令和元年度紀美野町一般会計補正予算（第2号）について

○議長（伊都堅仁君） 日程第11、議案第72号、令和元年度紀美野町一般会計

補正予算（第2号）について議題とします。

これから質疑を行います。

6番、田代哲郎君。

（6番 田代哲郎君 登壇）

○6番（田代哲郎君） それでは、補正予算（第2号）について質疑を行います。

まず歳入、説明書の3ページです。19款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金、1節財政調整基金繰入金3,133万7,000円、6目合併振興基金繰入金、1節合併振興基金繰入金2,150万円、それらの基金の繰り入れ後の基金残高について答弁を求めます。

歳出です。5ページ、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、2節給料、一般職給802万円の減額補正です。先ほども職員の定数が問題にされてましたが、役場行政職全体で正規職員は何人退職し、何人がこの4月から雇用されているのか、答弁を求めます。大方の数で、正確な数でなくても結構です。

4目同じく財産管理費です。13節委託料、かじか荘基本計画作成業務委託料118万8,000円の計上です。この説明はありましたが、もう少し詳しい説明を求めます。

それから、3款民生費は9ページです。3款民生費、4目保育所費、2節給料、ここでも一般職給712万円の減額補正となっています。この減額補正についての説明を求めます。

4款衛生費です。ここでも1目保健衛生費、2節給料、ここでも一般職給392万円の減額補正になっています。この補正についての説明を求めます。

それから、9款教育費は18ページです。4項社会教育費、7目星の動物園管理運営費、ここでも給料266万円の減額補正になっています。この減額補正についての説明を求めます。

以上です。

（6番 田代哲郎君 降壇）

○議長（伊都堅仁君） 総務課長、細峪君。

（総務課長 細峪康則君 登壇）

○総務課長（細峪康則君） それでは、田代議員の御質疑にお答えをいたします。

まず、説明書の3ページの19款繰入金、財政調整基金繰入金のこの補正後の残高につきましては、20億3,424万円でございます。

それから、合併振興基金繰入金、この補正後の金額は8億5,883万9,000円でございます。

それから、職員のお尋ねもございました。平成30年度末ですね。職員数全体なんです。消防も入れまして一般職員、正規の職員が178名ございました。これで3月31日付で11人が退職をいたしております。このうち1人は消防職員です。それから、31年4月1日、これ新規採用13名、採用しております。このうち2人は消防職員でございます。したがって、現在、職員数は全てで180人となっております。なお、再任用の職員につきましては、30年度末で7人おって、5人退職いたしました。それで、現在は再任用の職員は2名でございます。それから、そのほかの科目でもございましたが、一般給の減額とかってございましたが、それは人事異動等によるものでございますので、省略させていただきます。

(総務課長 細峪康則君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 企画管財課長、坂君。

(企画管財課長 坂 詳吾君 登壇)

○企画管財課長 (坂 詳吾君) それでは、田代議員の御質疑にお答えをいたします。

予算に関する説明書の5ページをお開きください。2款総務費、1項総務管理費、4目財産管理費、13節委託料、かじか荘基本計画作成業務委託料118万8,000円でございます。内容につきましてでございます。かじか荘本館につきましては、昭和42年に建設されまして約52年が経過しているため、平成30年度におきまして耐震診断を行った結果、多額の耐震改修等の工事が必要であることが判明いたしました。しかし、耐震改修工事を実施しても、建物の長寿命化にはつながらないということで、費用対効果等を考慮すると、建てかえをすることが賢明であるという結果から、今回、本館建てかえのための基本的な計画を作成するため、かじか荘基本計画作成業務委託料を計上をしたものでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

(企画管財課長 坂 詳吾君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 保健福祉課長、森谷君。

(保健福祉課長 森谷善彦君 登壇)

○保健福祉課長 (森谷善彦君) それでは、田代議員の御質疑、予算に関する説明

書の9ページ、3款2項4目保育所費の2節給料712万の減額の内容でございます。
これにつきましては、保育士2名の早期退職に伴う減額補正となっております。

以上、御説明とさせていただきます。

(保健福祉課長 森谷善彦君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 教育次長、曲里君。

(教育次長 曲里充司君 登壇)

○教育次長 (曲里充司君) 田代議員の御質疑にお答えさせていただきたいと思
います。

予算に関する説明書の18ページ、9款4項7目の星の動物園の管理運営費の職員給
の減額でございます。これは4月の人事異動に伴う減額の補正となっておりますので、
御理解賜りたいと思います。

(教育次長 曲里充司君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 保健福祉課長、森谷君。

○保健福祉課長 (森谷善彦君) すみません。説明のほうで、予算に関する説明書、
4款1項1目の保健衛生総務費の減額の理由なんです、人事異動に伴う1名の異動に
伴う減額補正でございます。

以上、説明とさせていただきます。

○議長 (伊都堅仁君) 6番、田代哲郎君。

○6番 (田代哲郎君) 民生費の9ページ、減額です。保育士2名の退職に伴う、
いわゆる保育所費の減額に712万円の減額は保育士2名の退職に伴う減額というこ
とで、その幼稚園教諭・保育士等の退職した後の補充というのは同じようにできているの
か、その点について答弁を求めます。

それから、衛生費の1名の異動ということで、392万円ということですが、その中
に保健師、看護師など、保健師が1名ですから、含まれているという、この金額からし
たら保健師の異動なのか、その辺についての答弁を求めます。

教育費も人事異動ということで、これは異動したというだけで人員について研究員の
人員等については変わらないのか、その点について答弁を求めます。

以上です。

○議長 (伊都堅仁君) 保健福祉課長、森谷君。

○保健福祉課長 (森谷善彦君) 田代議員の第1点目の御質疑、保育所費、9ペー

ジの3款2項4目保育所費の人事異動、早期退職に伴うその後の補充はどうなっているかということなのですが、現在、臨時保育士等含めて適正に保育園児の数との調整をして、適正に保育させていただいております。

また、4款1項1目の人事異動に伴う給与の変更につきましては、保健師から社会福祉にかかわる業務に変更したことに伴う予算の組み替えでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（伊都堅仁君） 教育次長、曲里君。

○教育次長（曲里充司君） 田代議員の御質疑にお答えさせていただきたいと思っております。

予算に関する説明書の18ページのところでございます。先ほど御答弁させていただきましたが、職員数3名から2名の1名の減ということになってございます。

以上でございます。

○議長（伊都堅仁君） 6番、田代哲郎君。

○6番（田代哲郎君） 一番気になっているのは保育所費なのですが、園児とのちゃんと定数との兼ね合いではきちつとなっているということで、それは臨時の保育士、つまり幼稚園教諭の雇用を含めて人員配置がきちつできているということなのか。それから、その中に保育助手の雇用というものはあるのかどうか、その辺について説明を求めます。

衛生費の1名減は、保健師から社会福祉のほうへということで、保健師の全体の数というのはそれでどうなるのか、その点についての答弁を求めます。

それから、次に、教育費で星の動物園の管理運営費ですが、3名から2名に減ったことによるということで、それは研究員が減ったということなのか、その辺についても答弁を求めます。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 保健福祉課長、森谷君。

○保健福祉課長（森谷善彦君） 1点目の予算に関する説明書9ページの保育所費の保育体制についての御質疑ですが、臨時職員と合わせてそれぞれの保育児童の園児の年代に応じた職員数に法律に基づいて適正に保育をしております。

また、保育助手については、臨時職員はあるんですが、保育助手という形では臨時職員という雇用は現在、それぞれの保育所で全体では7名をさせていただいております。

また、保健衛生費、1目の保健師の数なんですが、現在、7名、新規採用をことし2名させていただいておりますので、7人体制で現在行っている状況です。

それから、保育士についても、こども園、それから神野保育所で採用をしておりますので、そこについても正規職員の割合を高める努力をしております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（伊都堅仁君） 教育次長、曲里君。

○教育次長（曲里充司君） 田代議員の御質疑にお答えさせていただきます。

星の動物園の管理運営費の職員給ですが、研究員の人件費をこちらのほうでは予算計上しております、それが3人から2人ということで1名減となっております。

以上でございます。

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

7番、西口 優君。

（7番 西口 優君 登壇）

○7番（西口 優君） 5ページのかじか荘基本計画作成業務委託料という118万なんですけども、建てかえ費用の委託料というお話でしたけど、その建てかえ費用というのは限度、当然、本館の建てかえということになると何千万か億かというような単価になると思うんですけど、そういった場合、町にとってのメリットですかね。今は指定管理料を払っているという中で、建てかえてもこれから先も当然そういうふうに委託料というのが要ってくると、そうしたら町に対するメリットというのはどこにあると考えてますか。建てかえる、それでいてなおかつ、ずっと継続してお金がかかるというのであったら、ちょっと問題があるのかなと、こういうふうに思うんですけど、その点の考えをちょっと聞かせていただきたいと思います。

それと、15ページの15節工事請負費の中に建設残土処理場内整地工事費というのがあります。500万円ね。これ、どういうことを、ひよっとしたら残土を持ってくるから、それをならしもていつてる。そのための費用かなと思うんですけど、その点のちょっと確認したいと思います。

その下に土地購入費というのがあります。550万円ね。どこの土地を目的を何かの目的で買うという。きっと何かの目的があるから買うんでしょうけど、どういった目的で、坪単価何ぼぐらいで買ってるのかなと、こういうふうに思います。

それと、18ページのそれこそ先ほどから田代議員も言っていました星の塔天体観測ド

ーム改修工事費 532万円という、これはあくまで改修工事費設計委託料というだけの話なんで、どんなことをされるのかなということをちょっと聞きたいと思います。

(7番 西口 優君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 企画管財課長、坂君。

(企画管財課長 坂 詳吾君 登壇)

○企画管財課長 (坂 詳吾君) ただいまの西口議員の御質疑にお答えいたします。

予算に関する説明書の5ページの2款総務費、1項総務管理費、4目財産管理費、13節委託料のかじか荘基本計画作成業務委託料の件でございます。まず、かじか荘におきまして、建てかえということで建てかえ費用の委託料ということなんですけど、あくまでもこれは現時点でのここにも計上させていただいている費用につきましては基本計画、こういったものをするかということの概略の計画をするものでございます。

町のメリットということでございますが、かじか荘につきましては、大きな魅力のある観光資源の一つでありまして、町にとってはなくてはならない施設でございます。町内でも魅力的な観光施設は、ほかにも天文台やふれあい公園、生石山等々あるんですけども、他の施設と連携しながら、それぞれの施設の活性化、ひいては町全体の活性化につなげていきたいと考えてございます。

また、町のほうで文化センター、みさとホールを活用したまちづくり事業として音楽合宿の誘致というものにも取り組んでおりますので、これの合宿の受け入れ先としての役割も担っているということで、やはりこの本館の施設の整備ということは町にとってメリットがあると、それによって観光客も引き込むということで、非常に重要な内容になってるかと思っておりますので、御理解賜りたいと思います。

以上でございます。

(企画管財課長 坂 詳吾君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 建設課長、井村君。

(建設課長 井村本彦君 登壇)

○建設課長 (井村本彦君) それでは、私のほうからは西口議員の15ページ、7款5項15節工事請負費と17節の公有財産の購入費の御質疑にお答えさせていただきます。

まず、建設残土処理場内の整地工事費の500万でございますが、これにつきましては、現在、かなりの土砂等の搬入がございまして、それをもって当然、議員おっしゃられ

るように一部整地をしなければならない部分がございます。それと、縦排水溝と申しまして、随時、暗渠管を通してありますが、それに接続している縦の盛り土に合わせた排水管がございます。それも高さが変わってくることによって上げていかなければならないということがございますので、こちらのほうの工事と。それと、一部、防じん対策の舗装工事も見込んでございます。それを含めて500万という格好で計上させていただきます。

それから、土地購入費についてでございますが、昨年度、残土処理場の拡張の計画を行いました。林地開発の許可はいただいております。したがって、それに伴う1万2,300平方メートルの山林の土地の購入費でございます。ちなみに、委員は坪とおっしゃったんですが、平米単価で450円でお譲りいただくということで、金額のほうはちょっと地権者等との交渉もございましたので、上程するのがおくれておったところでございます。これはもう御了解もいただいた上で上程させていただいておりますので、御理解賜りたいたいと思っております。

以上でございます。

(建設課長 井村本彦君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 教育次長、曲里君。

(教育次長 曲里充司君 登壇)

○教育次長 (曲里充司君) 西口議員の予算に関する説明書の18ページ、星の動物園管理運営費の13節委託料の星の塔天体観測ドーム改修工事設計業務委託料の説明をさせていただきます。

平成29年ごろからドームの開閉にたびたび不具合が発生することがございました。平成30年度の予算でドームスリットの調査を行った結果、ドームスリットの安全を保障できるような状態に修理することがちょっと不可能という診断結果を受けまして、今回、新ドームの設置に向けた設計の費用を計上いたしておるところでございます。

以上でございます。

(教育次長 曲里充司君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 7番、西口 優君。

○7番 (西口 優君) かじか荘の部分で、かじか荘はこの観光資源として客を町内へ呼び込むというメリットがあると。そういうふうな話でしたけど、そうやって言っ

て、まず、ある程度、採算性があるってしかるべきかなと。持ち出しの状態の中で町にメリットがあるかという、さて、その辺にちょっと疑問を思うんですよ。確かに観光資源としては成り立っているのかもわからないけども、あくまでも指定管理料としてお金を払って成り立っているというところに、ちょっと疑問を思うんで、本来だったらとんとんでいけたら、それはそれでいいんやろうとは思うんやけど、人が呼べるということだけで。だけど、それが持ち出しになっている状態の中で呼び込むことに対するメリットがあるのかなと、こういうふうに思うんですけどね。その点、どうなんでしょうね。

○議長（伊都堅仁君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） かじか荘の設計業務計画の策定でございますが、これにつきましては、かじか荘だけを考えるんじゃないし、議員の皆さん方に御了解をいただいたセミナーハウスを、非常に古い建物で今までは宿泊来られておりましたが、ここ昨年、廃止をしたわけですね。そして、その文化センターの利用客が町内へ宿泊する場所、これはもうかじか荘しかないという中で、今回そのかじか荘の耐震調査をした結果、先ほど課長が申し上げたとおり、非常に改修工事には費用がかかる。そうした中で、やはり先人が残したかじか荘でございますので、これを観光の拠点として、やはり紀美野町ではやっていかならん。そうした三者を考えて、このかじか荘の一つ耐震の通る、そうした建物を建て、そして観光の拠点としていきたいという考えのもとに今回この基本計画を提案させていただいたところでございます。ただ単に、かじか荘の改修だけをしたわけじゃございませんので、まず、セミナーハウスの閉鎖、そしてまた、かじか荘を今後、拠点としてどうしていくかという、また文化センターとの絡み、そうしたことで観光の拠点として、これを維持していきたい。そうした中から今回のこの基本計画の策定ということで提案させていただきましたので、ひとつ御理解賜りたいと思います。

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

11番、美濃良和君。

（11番 美濃良和君 登壇）

○11番（美濃良和君） 歳入で、説明書で3ページ、ここの繰入金の合併振興基金繰入金の2,150万、これでもって歳出で見てもみたら、勝谷線と毛原下ですかね、この2線のこれに対する設計でしたか、それに入ってくるということでございますけれども、合併振興基金というものの使い方として、これでいいのかどうか。このところ、まずお聞かせいただきたいと思います。

それから、先ほどから皆さんお聞きになってる5ページのこのかじか荘ですけども、以前、旧美里町での折に、これは本館があって、その後ろに新館を建てていったんですね。そういう計画で、その後、その本館を解体して、そこに駐車場をつくるという、そういう設計であったかというふうに思うんです。それで、本館を残していったために非常にこの今は使い勝手が悪い状況になっているというふうなことになってるんですけども、今後、これについてそういう新しい設計がされていくということでございますけれども、ちょっとその辺のとこの基本的にその辺のところはどういうふうに考えておられるのか、使い勝手、動線上のというんか、非常に使い勝手が今は悪いことになってるんじゃないかというふうに思うんですけども、その辺のところの考え方で業者に委託するについてどういうふうにお考えになっておられるのか、お示しいただけたらと思います。

次に、歳出なんですけれども、ちょっと聞いておきたかったんですけども、きのう聞けなかったもので、14ページですね、土木費の道路橋梁、ここで橋梁修繕工事費というのが15節であるんですが、初日の説明のときに広田橋というふうに聞こえたんですけども、これは修繕工事、どのようなことをされようとしてるのか、お聞きしたいと思います。

あと、15ページのこの先ほどから皆さん聞いておられますけれども、残土処理ですね。これがかなり最近は多く土が入ってきてるというふうに皆さん方も思われてるわけですけども、これまたさらに広げていくということなんですが、形状というんですか、土地のある場所でだんだん上に上げていった場合に下流に対する、下に谷、もともと谷のところを埋めて上がってきてるんで、今後、この上げていった場合に、下流の災害というんですか、災害になるかどうかわかりませんが、そのところの対策はどのように考えておられるのか、お聞かせいただきたいと思います。

以上、よろしく願いいたします。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長(伊都堅仁君) 総務課長、細峪君。

(総務課長 細峪康則君 登壇)

○総務課長(細峪康則君) それでは、美濃良和議員の御質疑にお答えをさせていただきます。

説明書の3ページの合併振興基金繰入金ということで、2,150万円、今回取り崩

すという形になります。これが林道に2線の設置に充てていくということでございます。この合併振興基金と申しますのは、非常に弾力性といいますか、使い勝手のいいものでございまして、合併という言葉がありますとおり合併してからしばらく積み立ててきたものでございます。それが林道に充てるのはどうかなという御質疑のようにお伺いしてるんですけど、これは林道であっても当然この地域の方の生活道でございます。非常に林道というのは傷んでおるところでございますので、この生活道を確保していくということで、交通の便も確保しながら安全に通行できるようにしていくものでございますので、何ら問題はないものであると考えております。

(総務課長 細谷康則君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 企画管財課長、坂君。

(企画管財課長 坂 詳吾君 登壇)

○企画管財課長 (坂 詳吾君) 私のほうから、ただいまの美濃良和議員の御質疑にお答えいたします。

5ページのかじか荘基本計画作成業務委託料の件でございます。

確かに議員おっしゃるとおり、かじか荘につきましては、本館それから奥に新館ということで建物が配列をされております。今回、本館を建てかえをするに当たりまして、その新館との動線につきましても、この基本計画作成業務の中で考えていきたいと。ただ、今の動線はやはり観光客様、お客様にとりまして若干使いづらい形にはなってる部分あるかと思っておりますので、その部分も含めましてお客様の快適に宿泊していただけるような動線等を計画をいたしまして、やっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上、答弁とさせていただきます。

(企画管財課長 坂 詳吾君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 建設課長、井村君。

(建設課長 井村本彦君 登壇)

○建設課長 (井村本彦君) それでは、私のほうから美濃議員の御質疑にお答えさせていただきますと思います。

14ページの7款2項道路橋梁費の道路橋梁新設改良費の中の工事請負費の橋梁修繕工事費でございます。こちらにつきましては、本年度は黒沢橋と將軍橋を橋梁修繕やる予定となっております。ちなみにこの増額につきましては、黒沢橋のPCB、塗料に

含まれるPCBの廃棄処理に伴う増額によるものでございます。当初予算の決定後に業務委託によりPCB及び鉛が含まれていることが判明いたしましたので、その処分料を計上させていただいたというところでございます。

それから、15ページの土木費の建設残土処理費の中で、今後、処分場が上がっていく中で安全性は大丈夫なのかという御質疑であったかと思うんですけども、こちらについては当然、県のほうの林地開発の許可をいただいております。そのときに当然、安全性も考慮して、排水計画も全て入れて、防災計画も立てた上で許可をいただいておりますので、そちらのほうに基づいて行えば大丈夫だということで御理解賜りたいと思っております。

以上でございます。

(建設課長 井村本彦君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 11番、美濃良和君。

○11番 (美濃良和君) ちなみに、林道2線について、これは林道をやるなどか言うんじゃないかと、その性格上どうであるかという部分を聞いたんですけど、それを一言、言っておきます。

それと、この14ページの土木費の中の道路橋梁費で、今、その工事費が2,510万のうち黒沢橋のところでPCBが発見されたと言われましたかね。あと鉛。そういうふうなものがどうやって使われておったのか。それから將軍橋もですか。黒沢橋と將軍橋と今、言われませんでしたかね。これにもう少し詳しく御説明をお願いしたいと思います。

あと、15ページの残土処理場ですけども、大丈夫ということなんですが、普通一般的に大きな地震等の問題もだんだん心配が深くなってきてますけれども、そういうところの液状化ですよ。積んだところが液状化しやすいとかってというのが一般的に聞くんですよ。その液状と、それから後ろに谷ですから水が来てるところでしょ。そういうふうな条件からいって、液状というのが頭にくるんですけども、その辺は確実に大丈夫なことになってるのか、もう一度それも確認したいと思います。

以上、お願いいたします。

○議長 (伊都堅仁君) 建設課長、井村君。

○建設課長 (井村本彦君) それでは、美濃議員の再質疑にお答えをさせていただきます。

まず、14ページのほうの橋梁修繕工事のほうでございますが、こちらPCBの対策を必要とするのは黒沢橋でございます。書物によりますと、昭和50年ごろまでの塗料にはPCBが含まれておることが通達されてございます。これに関して含有量は場所によって、当然年度によって多々あるようでございますが、黒沢橋のほうに関してはかなり低度なものでございます。かなり濃度が濃いものに関しては処分期限がたしか私の記憶によりますと平成32年、恐らく令和2年まででない処分場ができないというような形、低濃度なものであれば恐らく平成38年まで受け入れ可能であったらうと思っております。ですので、今回、この分の増額をお願いするという御理解賜りたいと思っております。

それから、その下、15ページの残土処分場の液状化とか、谷が大丈夫かという御質疑であろうかと思うんですが、こちらに関しましては2カ所、谷がございます。その流末に関しては現在、それ以上の大きな暗渠管を埋設しておりまして、それから先ほども申し上げましたとおり縦工を入れて、要所要所でその暗渠管に土が上がっていくたびに排水をしているという状況でございます。最終的にでき上がった際には、その谷の部分を表面排水に切りかえるという計画でございますが、工事途中においては暗渠管を、またもし現在のもので不備があるようであれば、また入れ足すようなことをしながら、防災工事の対策も考えていきたいと思っておりますので、そこは心配ないかなと御理解賜りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

以上でございます。

○議長（伊都堅仁君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで質疑を終わります。

これから議案第72号に対し、討論を行います。

反対討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで討論を終わります。

これから議案第72号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第72号は原案のとおり可決されました。

◎日程第12 議案第73号 令和元年度紀美野町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号) について

○議長 (伊都堅仁君) 日程第12、議案第73号、令和元年度紀美野町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号) について議題とします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで質疑を終わります。

これから議案第73号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで討論を終わります。

これから議案第73号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第73号は原案のとおり可決されました。

◎日程第13 議案第74号 令和元年度紀美野町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算 (第1号) について

○議長 (伊都堅仁君) 日程第13、議案第74号、令和元年度紀美野町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算 (第1号) について議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで質疑を終わります。

これから議案第74号に対して討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで討論を終わります。

これから議案第74号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第74号は原案のとおり可決されました。

◎日程第14 議案第75号 令和元年度紀美野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

○議長 (伊都堅仁君) 日程第14、議案第75号、令和元年度紀美野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで質疑を終わります。

これから議案第75号に対して討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで討論を終わります。

これから議案第75号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第75号は原案のとおり可決されました。

◎日程第15 議案第76号 令和元年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について

○議長（伊都堅仁君） 日程第15、議案第76号、令和元年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について議題とします。

これから質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで質疑を終わります。

これから議案第76号に対して討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで討論を終わります。

これから議案第76号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第76号は原案のとおり可決されました。

◎日程第16 議案第77号 令和元年度紀美野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について

○議長（伊都堅仁君） 日程第16、議案第77号、令和元年度紀美野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について議題とします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで質疑を終わります。

これから議案第77号に対して討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） これで討論を終わります。

これから議案第77号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第77号は原案のとおり可決されました。

◎日程第17 議案第78号 令和元年度紀美野町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について

○議長(伊都堅仁君) 日程第17、議案第78号、令和元年度紀美野町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について議題とします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) これで質疑を終わります。

これから議案第78号に対して討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) これで討論を終わります。

これから議案第78号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第78号は原案のとおり可決されました。

◎日程第18 議案第79号 令和元年度紀美野町上水道事業会計補正予算(第1号)について

○議長(伊都堅仁君) 日程第18、議案第79号、令和元年度紀美野町上水道事業会計補正予算(第1号)について議題とします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これまで質疑を終わります。

これから議案第79号に対して討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これまで討論を終わります。

これから議案第79号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第79号は原案のとおり可決されました。

◎日程第19 発委第1号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書について

○議長 (伊都堅仁君) 日程第19、発委第1号、新たな過疎対策法の制定に関する意見書についてに議題とします。

提案理由について説明を願います。

総務文教常任委員長、美野勝男君。

(総務文教常任委員長 美野勝男君 登壇)

○総務文教常任委員長 (美野勝男君) 発委第1号

令和元年6月18日

紀美野町議会議長 伊都堅仁様

提出者 総務文教常任委員会委員長 美野勝男

新たな過疎対策法の制定に関する意見書について

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条第3項の規定により提出します。

それでは、提出理由について申し上げます。

過疎対策については、昭和45年の過疎地域対策緊急措置法の制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、一定の成果を上げたところであるが、依然として諸課題を多く抱えている。

現行の過疎地域自立促進特別措置法は令和3年3月末をもって失効することから、引

き続き、総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を求めるものである。

それでは、意見書を朗読します。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書（案）

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、少子高齢化の加速に伴い、ますます多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年6月

和歌山県海草郡紀美野町議会

提出先としては、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・農林水産大臣・国土交通大臣宛て。

以上であります。

全員の御賛同を賜りますよう、お願いいたします。

(総務文教常任委員長 美野勝男君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。
ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで質疑を終わります。
これから発委第1号に対し討論を行います。
反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) これで討論を終わります。
これから発委第1号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、発委第1号、新たな過疎対策法の制定に関する意見書については原案のとおり可決されました。

◎日程第20 議員派遣の件について

○議長 (伊都堅仁君) 日程第20、議員派遣の件について議題とします。

お諮りします。

議員の派遣については、お手元に配付のとおり派遣することにしたいと思います。御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、議員派遣の件については、お手元に配付のとおり派遣することに決定しました。

◎日程第21 閉会中の継続調査の申し出について

○議長 (伊都堅仁君) 日程第21、閉会中の継続調査の申し出について議題とします。

総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、議会運営委員会、議会活性化特別委員会及び広報編集特別委員会の委員長から、会議規則第75条の規定によって、お手元に配付のとおり閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りします。

委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

よって、各委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

お諮りします。

本定例会に付された事件は全て終了しました。

したがって、会議規則第7条の規定によって、本日で閉会したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(伊都堅仁君) 異議なしと認めます。

したがって、本定例会は、本日で閉会することに決定しました。

閉 会

○議長(伊都堅仁君) これで本日の会議を閉じます。

令和元年第2回紀美野町議会定例会を閉会します。

(午前11時37分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和元年6月21日

議 長 伊 都 堅 仁

議 員 藤 井 基 彰

議 員 上 柏 皖 亮